



城陽市立古川小学校
学校だより
1月号
平成24年(2012年)1月10日

新年あけましておめでとうございます。新しい年が子ども達や保護者の皆様方にとってより良い年になることをお祈りいたします。三学期は1年を締めくくる大切な学期です。インフルエンザへ等の備えを怠らず、子ども達が健康で充実した学校生活を送れますようよろしくご支援ご協力をお願いいたします。



9つの石

校長 横須賀 和男

京都市内の上京区の堀川紫明を少し下がった所に、本法寺(ほんぽうじ)という日蓮宗のお寺があります。大きな山門に目を引かれて境内に入ってみると立派な御堂や寺塔が立ち並び由緒ある本山寺院であることが分かります。この寺には重要文化財の巨大な「佛涅槃図」(長谷川等伯筆)が所蔵されており、また本阿弥光悦作の「巴の庭」が有名で、隠れた観光スポットとなっています。

拝観順路に沿って歩いていると、「十ノ庭」と書いた20坪程の小さな庭があります。案内の方に聞くと、この庭は本堂改築時に住職が造営したもので、「つなしの庭」と読むと聞き興味を惹かれました。では、なぜ十と書いて「つなし」と読むのでしょうか。



1から9までは「ひとつ、ふたつ、・・・、このつ」と数えますが、十からは「つ」がなくなるということです。庭をよく見ると、形や大きさの違う庭石が9個配置されていますが、10個目の石は見当たりません。まるでナゾ賭けのような庭です。

案内の方に尋ねてみると、次のような答えが返ってきました。

「人間は『つ』のつく年齢の間に生涯の基礎となる力を身に付けなければならない。」と言われました。つまり、人としての基本的な「しつけ」は『つ』のつく間(9歳まで)にすることが大切であり、その間に身に付けたことは一生忘れないとのことでした。

この庭に10個目の石がないことも納得できました。「9つまでは人が与えてくれる。しかし、見えない10個目の石は心の目で見つけるもの。つまり、自分の力で見つけ出して欲しい。」とのことでした。

ところで、教育の現場では「10歳の壁」という言葉がよく使われます。それは、子どもの発育過程においての変わり目を意味します。

10歳頃を境にして、今までは素直に聞けたことが聞けず、疑ったり人目を意識したり等の自我が芽生えてきます。思春期の入口とも言える時期であり、学校でも家庭でも扱いにくくなるのがこの頃からです。だからこそ、9歳までの「しつけ」や「学び」が大切とされるのです。

幼少期の親子関係や生育環境が、その後の子ども達の成長に大きな影響を与えていると言われています。この時期の子育ては、一生の基礎を築くものだけに「手抜き」は許されません。「我が家の子育てはどうか？」常に振り返って見る必要があるのではないのでしょうか。

入学説明会・半日入学

1月27日(金)、来年度入学予定の子ども達が、1年生と楽しく交流します。当日1年生は3時頃の下校になります。また、2年生は4校時授業になり給食終了後、簡単な清掃をして1時20分頃の下校になります。

授業参観・書き初め展のお知らせ

- 授業参観 1月13日(金)
2校時(9:35~) 1~3年
3校時(10:40~) 4~6年、たんぼぼ学級

- 書き初め展 1月13日(金) 16日(月)
[午前9時~午後5時] *場所 各教室前廊下

授業参観



1月学校行事予定

10	火	B4校時 始業式 大掃除	24	火	⑥クラブ
11	水	体位測定(1、2年) 給食開始 からだ・生活調べ(~24日)	27	金	入学説明会、半日入学
12	木	体位測定(3、4年、たんぼぼ)	30	月	AET来校(~2/3)
13	金	体位測定(5、6年) 書き初め展 授業参観(2、3校時) 平成23年度PTA本部役員選挙告示	31	火	⑥クラブ 避難訓練
16	月	書き初め展	2月の主な行事予定 3日(金) 北城中体験入学(6年) 7日(火) 授業参観・懇談会 (高学年・たんぼぼ学級) 14日(火) 授業参観・懇談会(低学年) 23日(木) 6年生を送る会 24日(金) 特別支援学級卒業生を送る会		
17	火	⑥委員会			
19	木	教育相談日			
20	金	本部役員立候補締め切り			

生活のリズムを整えよう

~からだ・生活調べ~ (1月11日~24日)

1月11日(水)より「からだ・生活調べ」が始まります。寒さのとても厳しいこの時期は、生活リズムを崩したり睡眠不足になったりして体力が落ちると風邪にかかりやすくなります。規則正しい生活リズムで、特に睡眠時間をきちんととって風邪に負けない体づくりに心がけてほしいものです。

インフルエンザの予防について

今年もインフルエンザの流行が心配されます。「手洗い、うがいの励行」「できる限り、人混みには行かない」「栄養と睡眠をしっかりとり抵抗力をつける」など、インフルエンザを予防するよう心がけてください。また、体調が思わしくなかったら、早くお医者さんに見てもらおうようにしましょう。